

須川展也

リサクソフタル

日本が世界に誇る世界的奏者
クラシカル・サクソフォンの
新たな歴史を今もなお拓き続ける
偉大なるパイオニア



小柳美奈子 (ピアノ)

©Toru Hasumi

6.22

土

開場 14:30
開演 15:00

佐賀市文化会館 中ホール

※未就学児の入場はご遠慮ください。(託児サービスはございません。)

チケット 全席指定 一般 1,500円
高校生以下 500円

※消費税込

プレイガイド

佐賀市文化会館、佐賀玉屋
アートミュージック、小川楽器佐賀店
ローンチケット <https://i-tike.com/> (Lコード: 822226)
チケットぴあ <https://pia.jp/> (Pコード: 262-735)
e+イープラス <https://eplus.jp/>
セブンチケット <https://7ticket.jp>

Program

※曲目は予定です。予告なく変更する場合がございます。

【第一部】

- ♪ アイルランド民謡 / 石川亮太編曲: ロンドンデリーの歌
- ♪ E.サティ / 長生淳編曲: ジュ・トゥ・ブ
- ♪ J.イベール / 須川展也編曲: 間奏曲
- ♪ M.ラヴェル / 長生淳編曲: 亡き王女のためのパヴァーヌ
- ♪ G.ビゼー / 伊藤康英編曲: アルルの女第2組曲より間奏曲
- ♪ G.ビゼー / 朝川朋之編曲: 花の歌~カルメンより~
- ♪ F.ボルヌ / I.ロト編曲: カルメン幻想曲

【第二部】

- ♪ 作曲者不詳 / 本多俊之編曲: アメージンググレース *サクソフオン独奏
- ♪ P.ボノー: ワルツ形式によるカプリス *サクソフオン独奏
- ♪ P.マスカーニ / 須川展也編曲: カヴァレリアルスティカーナ間奏曲
- ♪ リムスキー・コルサコフ / 須川展也編曲: くまんばちの飛行
- ♪ 真島俊夫: シーガル
- ♪ ジョン・ウィリアムス: エスカベイズ ~映画キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャンより~

©Toru Hasumi



©Toru Hasumi

須川展也 (サクソフォン) Nobuya Sugawa, Saxophone

日本が世界に誇るクラシカル・サクソフォン奏者。デビュー以来長きにわたり、チック・コリア、ファジル・サイ、坂本龍一、西村朗、本多俊之、吉松隆、長生淳など名だたる作曲家への委嘱を継続。多くの作品が楽譜としても出版され、20-21世紀のクラシカル・サクソフォンの新たな主要レパートリーとして国際的に広まっている楽曲が多く、クラシカル・サクソフォンの領域への貢献は計り知れない。作曲家からの献呈作品も枚挙にいとまがない。

N響、都響など国内オーケストラのみならず、BBCフィル、フィルハーモニア管、イーストマン・ウインド・アンサンブル、パリギヤルド・レピュブリケーズ吹奏楽団など世界各国の著名オーケストラや、デュトワ、A.ギルバートなどの名指揮者たちと共演。ウィーンのミュージクフェラインをはじめ、世界各地の檜舞台でリサイタルを行っている。また、これまで海外30ヶ国以上に招かれ公演やマスタークラスを行っており、管楽器の魅力を若い世代に伝える活動を精力的に継続している。

東京藝術大学卒業。サクソフォンを故・大室勇一氏に師事。第51回日本音楽コンクール、第1回日本管打楽器コンクールのいずれも最高位に輝く。出光音楽賞、村松賞を受賞。98年JTのTVCM出演、02年NHK連続テレビ小説「さくら」ではテーマ曲を演奏。これまでに国内外のレーベルから約30枚のCDをリリース。新作の紹介に留まらず、ロン・カーターやマーティン・テイラーなど、他ジャンルの巨匠と共演したものもある。最新CDは自身初の無伴奏作品となる「バッハ・シーケンス」(令和2年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞)。2014年に自叙伝「サクソフォーンは歌う!」を、また2021年に「絶対!うまくなる サクソフォーン100のコツ」を刊行。

89-10年まで東京佼成ウインドオーケストラ・コンサートマスター、07-20年までヤマハ吹奏楽団常任指揮者を歴任。現在は、イヅカ☆プラスフェスティバル・ミュージックディレクター、静岡市清水文化会館マリナート音楽アドバイザー&マリナート・ウインズ音楽監督を務めている。サクソフォン四重奏団トルヴェール・クワルテットではソプラノ・サクソ奏者を務める。

東京藝術大学招聘教授、京都市立芸術大学客員教授。



©Toru Hasumi

小柳美奈子 (ピアノ) Minako Koyanagi, Piano

東京藝術大学卒業。伴奏のイメージを変えてしまう、アンサンブル・ピアニスト。様々なプレイヤーの呼吸の機微を読み取り、それに寄り添うしなやかな感性を数多くのリサイタル、レコーディングで発揮している。吉松隆「サイバーバード協奏曲」の準ソリストとしてフィルハーモニア管弦楽団他と共演。

須川展也氏をはじめとした共演での録音は10数枚を超える。また須川氏に献呈された多くのデュオ作品(吉松隆氏、西村朗氏、長生淳氏等)のほぼ全ての初演を手がけている。中でも03年に発売された須川氏の3枚組アルバム「Exhibition of Saxophone」に於ける須川氏との絶妙なコンビネーションは、大絶賛を浴びた。パーカッションの山口多嘉子とのデュオ「パ・ドゥ・シャ」で、吉松隆氏の作品を取めたCDも発表している。

海外での演奏も多く、訪れた国はヨーロッパ各国、アメリカ、ロシア、およびアジア諸国など20か国におよぶ。いずれのステージでも多くの注目を集め、高い評価を得ている。

トルヴェール・クワルテットの共演者としてのキャリアも長く、多くの録音に参加。

トリオ「YaS-375」のメンバー。

ピアノを安川加寿子、梅谷進、秦はるひ、今井正代、長谷川玲子、本村久子の各氏に師事。